

株主の皆様へ

株主通信

第72期【中間期】

平成28年4月1日～平成28年9月30日



サンメッセ株式会社



代表取締役社長

田中 義一

強みである“総合力”を活 さらなる企業価値向上を

上半期における増収増益を 達成いたしました

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第72期上半期の業績につきましては、売上高が73億59百万円（前年同期比0.5%増）。営業利益は46百万円（前年同期は営業損失1億45百万円）、経常利益は98百万円（前年同期は経常損失73百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は46百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失37百万円）と前年同期比で増収増益という結果となりました。ペーパーレス化に伴う

売上高	73億59百万円
営業利益	46百万円
経常利益	98百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	46百万円

かし、新たな領域に挑戦。 目指してまいります。

市場全体の需要減少に加え、同業者間の受注競争の激化による受注単価の下落などにより、依然として厳しい経営環境にあります。上半期の業績として黒字化を達成することができました。もちろん数字に関しては、まだまだ満足できるものではありませんが、社員一人ひとりが、自身の業務に対して責任を持って取り組んできた結果が、数字に表れてきたものと考えております。

印刷業界は下半期に業績を押し上げる傾向にあります。引き続き、売上の向上、利益改善に取り組み、当初の目標を達成できるように、社員一丸となって鋭意努力してまいります。

「見える化」の推進で業務改善を 図ってまいります

当社は今年度の会社方針に「見える化推進の年」を掲げ、さまざまな問題の可視化とその共有化に全社を上げて取り組んでおります。生産工程、作業手順の

可視化による業務フローの改善はもちろんですが、利益率が低い個別案件についても、一つひとつ問題を可視化することで利益改善を図っております。また、売上、利益予算に対する予実管理を徹底的に可視化することで、単月ベースの営業戦略をスピーディーに構築、展開できるようにも取り組んでおります。こういった日々の小さな努力の積み重ねが、上半期の黒字化に結びついた1つの要因だと考えております。

このような取り組みを進化させるべく、現在、業務系データを一元管理する新たなMIS (Management Information System) の構築を進めております。見積段階における利益分析や工程別原価がタイムリーに把握できるなど、個々の業務に関する情報の見える化が可能となり、生産準備に対するスピーディーな対応、ヒューマンエラーの低減。適正な売上、利益の確保に寄与します。来年4月からの本格運用に向け、当社内の開発部門でシステムを構築中ですが、完成すれば生産性や収益性が高まるものと期待しております。

新たなサービス・製品をリリース。 成長戦略事業の積極的な進展を 図っております

当社では、新たなビジネス領域としてBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)事業に注力しておりますが、その具体的な事業戦略の1つとして、ストレスチェック支援サービス(名称:S-サポート)を新たにスタートいたしました。既にご存知かと思いますが、2014年6月、国会において「ストレスチェック義務化法」が可決され、2015年12月の施行以降、従業員50名以上の事業所は、1年間に1回以上のストレスチェックの実施が義務化されております。当社は、同事業においては後発企業となりますが、一般社団法人メンタルヘルスケア対策支援機構(東京)とアライアンスを組み、情報漏洩リスクやタイムロスの少ない理想的なフローを構築。外部委託のない社内一貫システムで、高いコストパフォー



マンスをお客様にご提供できると考えております。また、個人情報の印字や封入・封緘を伴う業務ということで、中期的な成長戦略事業として推進しております「IPS事業」の伸張に寄与する、新たな取り組みでもあります。【P5にて詳細をご紹介】

同じく成長戦略事業の1つである「ICT事業」においては、新たな商材として汎用ARビューアー『アーティスト』をApp Store^{*1}とGoogle Play^{*2}に公開するとともに、スマートフォン用アプリ開発をサポートする『easyアプリ』のサービスを開始しました。『アーティスト』は、従来のARビューアーの機能に加え、ユーザー情報がなくても任意のメッセージを送ることのできる機能があるほか、ユーザーの購買行動などがわかるアクセス解析も可能です。印刷、Web、スマートフォンなどのクロスメディアソリューションとして、多くのお客様にご活用いただけるものと考えております。【P6にて詳細をご紹介】



▲新たなBPO事業となる「S-サポート」
(写真はサービス案内ツール)



▲「アーティスト」のリーフレット



また、「パッケージ事業」では、アジア最大級の包装総合展示会「TOKYO PACK 2016」に、タイランドにおける当社グループの業務提携先であるChan Wanich Security Printing Co.,Ltd(CSP)と合同出展。タイランドをはじめ、ASEAN諸国へ進出されているグローバル企業へ、現地でもジャパंकオリティの印刷物・包装資材を当社がご提供できることをアピールいたしました。パッケージ事業においては国内での拡販はもちろんですが、海外でのビジネスも当社グループとして積極的に取り組み、新規顧客の開拓や売上、利益の向上に繋げていきたいと考えております。

「コーポレート・コミュニケーション事業」においては、2015年10月にコーポレート・コミュニケーションツールの企画・専門会社である株式会社ファイブ・シーズ(東京)と業務提携契約を締結。また、国内唯一のCSR専門誌を発行する株式会社オルタナ(東京)との業務連携を強化したことにより、ナショナルブランド



「TOKYO PACK 2016」での当社ブース

と呼ばれる優良企業のコンサル業務、ツール制作業務など、提携・連携の効果が表れてきております。この事業分野においては、スペシャリストの養成をはじめ、さらに専門性を追求することで、当社のブランド力を向上させていきたいと考えております。

今後、印刷を核に当社の強みである“総合力”を活かし、新たな切り口のサービス、商品をご提供することで、さらなる企業価値を高めていきたいと考えております。

※1 アップル社が自社製品向けにアプリケーションを提供するオンラインサービス
※2 Googleによって提供される、主にAndroid端末向けデジタルコンテンツ配信サービス

皆様にとって“グッド・カンパニー”であり続けることを これからも目指してまいります

これからも皆様のご期待に応えるべく、スピード感を持って積極的に新しいことに取り組んでまいりたいと考えております。また、お客様に喜んでいただけるサービス、製品をご提供することで、事業会社として適正な売上、利益の確保に努め、ステークホルダーの皆様へ愛される“グッド・カンパニー”であり続けられるよう、社員全員で取り組んでまいります。株主の皆様にはより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

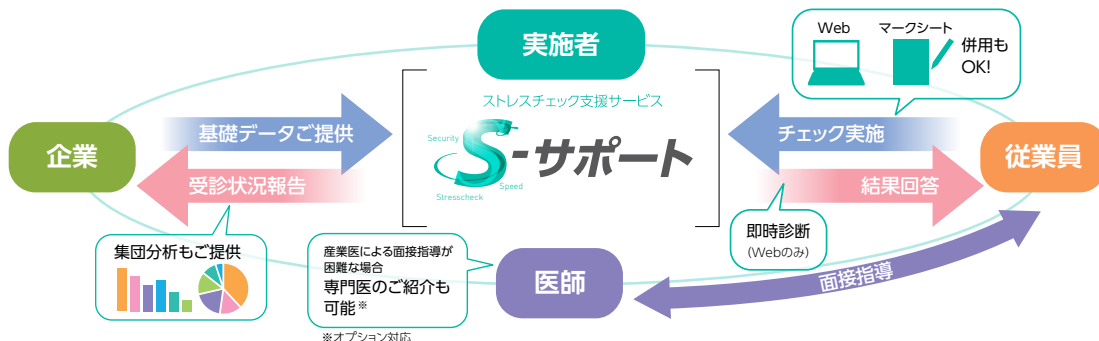
新たなビジネス(BPO事業戦略)を
スタートしました。

ストレスチェック
支援サービス



当社は、新たなビジネスとして注力するBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)事業領域の一環として、ストレスチェック支援サービス『S-サポート』をスタートいたしました。一般社団法人メンタルヘルスケア対策支援機構(東京)とアライアンスを組み、同機構のシステムを活用

することで、お客様へのストレスチェック支援サービスをご提供するものです。外部委託のない社内一貫システムにより、個人情報などの情報漏洩リスクやタイムロスの少ない理想的なフローによる、優れたコストパフォーマンスをご提供できるものと考えております。



S-サポートの特長

- 法令対応のみに留まらず、職場改善のための項目、より細かなメンタルに起因する可能性の示唆が可能
厚労省のすすめる「57設問」→「125設問」による充実プログラム
- お客様に合った、分かりやすい「職場解析報告書(集団分析)」をご提供
3つの分析軸を基本とし、「グラフィカルで分かりやすい」報告書
- 二次委託のないシームレスな環境
情報セキュリティを重視したセキュアな体制
BPO事業に強みを持つ、当社の強固なファシリティ

サービスメニュー

■標準メニュー

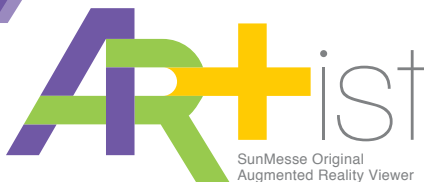


■オプションメニュー



サンメッセオリジナルARビューアーを
リリースしました。

スマートフォンやタブレットを
かざすだけで
「印刷」がエンターテインメントになる。



〔アーティスト〕

当社は、拡張現実 (AR) 技術を活用した新製品『AR+ist (アーティスト)』のサービスを開始しました。

『アーティスト』は、印刷物などに掲載された専用マーカーにスマートフォンやタブレットをかざすだけで、仮想のキャラクターが画面上に現れたり、Webサイトにリンクできたり、動画が自動再生され、その動画を撮影してそのまま

SNSに投稿できるなどの機能を持ったARビューアーです。また、顧客情報がなくてもメッセージが送ることのできるプッシュ通知機能のほか、ユーザーの購買行動の分析に役立つアクセス解析も可能です。印刷、Web、スマートデバイスなどのクロスメディアソリューションとしてご活用いただけます。

エンターテインメント 満載のAR機能

例えば、パッケージの中身が透けたり、ARコンテンツからwebにリンクしたり、動画を撮影してSNSに投稿できます。



個人情報がなくともプッシュ通知で

顧客データベースがなくとも、プッシュ通知が送信できます。個人情報の管理などの心配もありません。



ユーザーの行動が わかるアクセス解析

お客様がどんな購買行動をしたか、また、販促ツールの効果把握などが可能で、ご要望に合わせてレポートさせていただきます。



『アーティスト』のAR機能やプッシュ通知、アクセス解析を標準装備した、オリジナルアプリ開発支援サービス『easyアプリ』も同時にスタートいたしました。

当社では、企業と人、人と人のコミュニケーションに、この新しいサービスをお役立ていただきたいと考えております。

「easyアプリ」も
同時にリリース



● 「SunMesse Special Exhibition 2016」を開催



展示会には、過去最高の87社160名以上のお客様が来場されました



プレゼンテーションの様子

各ブースにて当社の技術力を紹介

平成28年9月8日・9日の2日間にわたり、プライベートショーを開催いたしました。本展示会は、お客様に当社の最新技術を直接触れていただく機会として、本社及び本社工場を会場に毎年開催しているものです。

今回のテーマは「お見せしたいのは、企画力と技術力」。当社の成長戦略の核である4つの事業を中心に各分野におけるソリューションを展示いたしました。スマートフォンVRゴーグル「MilBox Touch」、看護教育用教材としての「多視点映像アプリ」など、特にICT事業コーナーの展示に対して、多くの来場者の注目が集まりました。

また、当社のBPO事業であるストレスチェック支援サービス「S-サポート」をプレ・リリースするとともに、来場者へプレゼンテーションを実施。当社の新たなオリジナル商品を多くのお客様へアピールする場となりました。

● 「XEROX Color 1000i Press」を導入

平成28年10月1日、新型デジタルプレス機「XEROX Color 1000i Press」を導入いたしました。

「Color 1000i Press」は、これまで使用していた機種に比べて印刷出力が毎分100ページと20%高速化され、さらに生産性が向上しました。また、表裏位置合わせなどの調整作業を自動化する「インラインセンサー」の装備により、オペレーターの負荷軽減や作業効率の向上にも寄与しました。

同機の導入により、新たに濃色用紙印刷にも対応可能となり、より高品質な製品を安定的に生産できる環境が整いました。



XEROX Color 1000i Press

● 当社のアスリートが各大会で活躍

平成28年4月から9月にかけて全国各地で行われたスポーツ競技会において、当社社員が優秀な成績を収めました。

当社軟式野球部は「第39回岐阜県軟式野球A級リーグ戦」「第71回国民体育大会岐阜県大会」「天皇賜杯第71回全日本軟式野球大会岐阜県大会」「第61回中部日本都市対抗岐阜県大会」など、岐阜県内の主要な大会において優勝を果たし4冠を達成いたしました。

アーチェリー部も「第64回全日本実業団選手権」において団体戦初優勝を果たしました。個人戦においては、杉林りなが「2016ワールドカップメデリン大会」で8位入賞、佐々木和真が「第49回全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会」で準優勝するなど、輝かしい成績を上げています。

また、「全日本実業団陸上選手権2016」に出場した陸上部の岩船陽一が3位入賞を果たし、兼益明日香と小泉あいが所属する大垣ミナソフトボールクラブは「全日本総合選手権東海地区予選」で準優勝、「日本女子ソフトボールリーグ2部」でも好成績を残すなど目覚ましい活躍をし、当社の知名度アップに貢献いたしました。

当社では、社員の積極的なスポーツ参加支援を行っており、今後もこれらの活動を通じて、地域のスポーツ振興と社内の活性化に努めてまいります。



4冠を達成した野球部



日本一の栄冠に輝いた
アーチェリー部



大垣ミナソフトボールクラブに
所属する
兼益明日香(左)と小泉あい(右)



陸上部の岩船陽一

● 津営業所が移転・改称し、新たに三重営業所としてスタート



三重営業所として新たにスタート

平成28年8月25日、津営業所を三重県四日市市に移転・改称し、新たに三重営業所として業務を開始いたしました。

四日市市は三重県北部に位置する北勢エリアの中心都市。隣接する桑名市、鈴鹿市を含めた県内最大の経済圏を構成しており、潜在的なビジネスチャンスが見込まれる都市です。

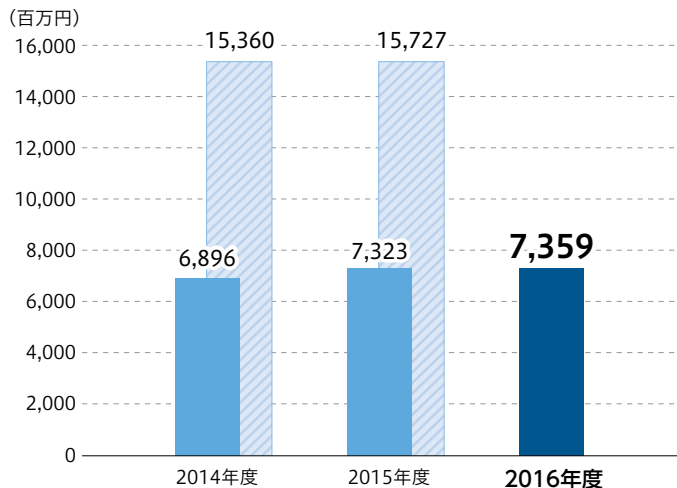
三重営業所は、三重県北勢エリアを中心に営業活動を展開し、今後は、既存のお客様、業務だけでなく、当社の総合力を活かし、新たな販路拡大に努めてまいります。

業績のご報告〔連結〕

財務ハイライト

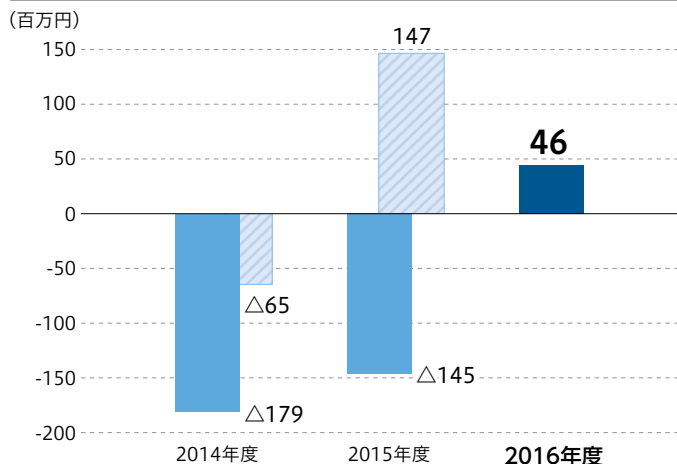
■ 上半期 ■ 通期

●売上高



印刷事業においては、一般商業印刷物のカタログ、折込チラシ等や出版印刷物が減少しましたが、包装印刷物の袋物やパッケージ等の増加により増収となりました。また、イベント事業においては、昨年度に開催された大型イベントなどが無かったため減収となりましたが、グループ全体での売上高はわずかながら増収となりました。

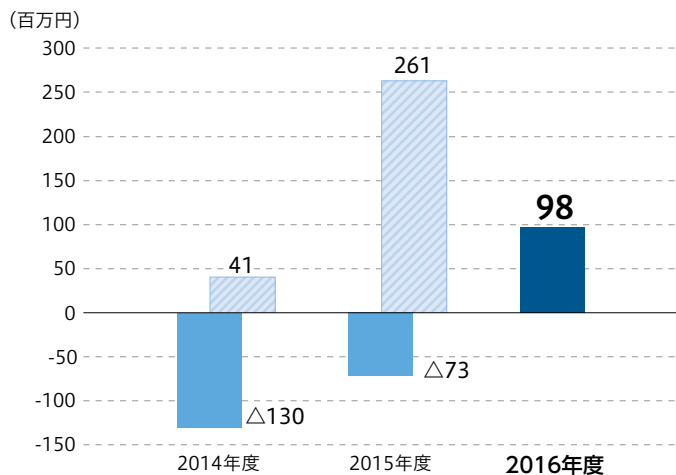
●営業利益(損失)



材料費の減少やコスト低減の取り組み等により、売上総利益が増加したため増益となりました。

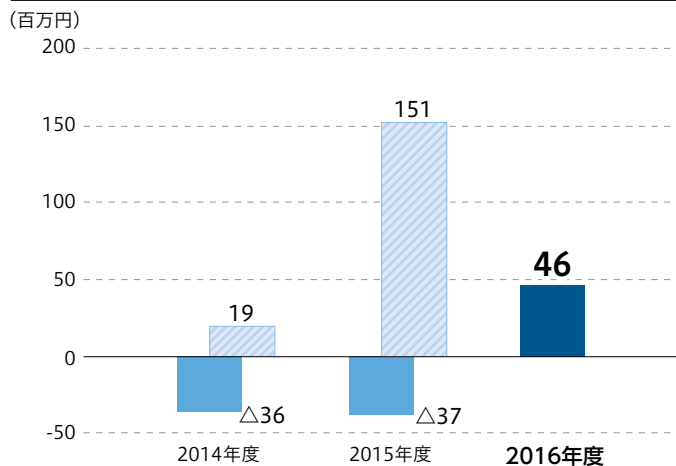
※今年度より、従来、営業外収益に計上していた作業くず売却益を、製造原価より控除する方法に変更しております。そのため、2014年度、2015年度の営業利益について遡及修正後の数値を記載しております。

● 経常利益(損失)



営業外収益は減少しましたが、売上総利益が増益となったため増益となりました。

● 親会社株主に帰属する当期純利益(損失)

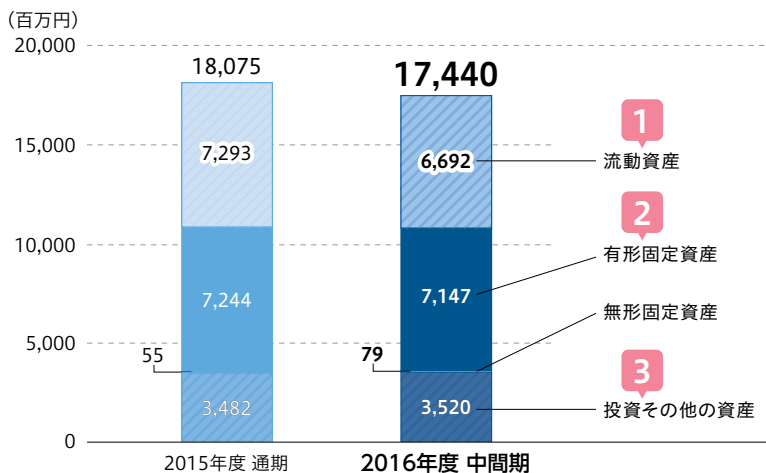


固定資産売却益が減少し法人税等が増加しましたが、売上総利益が増益となったため増益となりました。

連結財務諸表

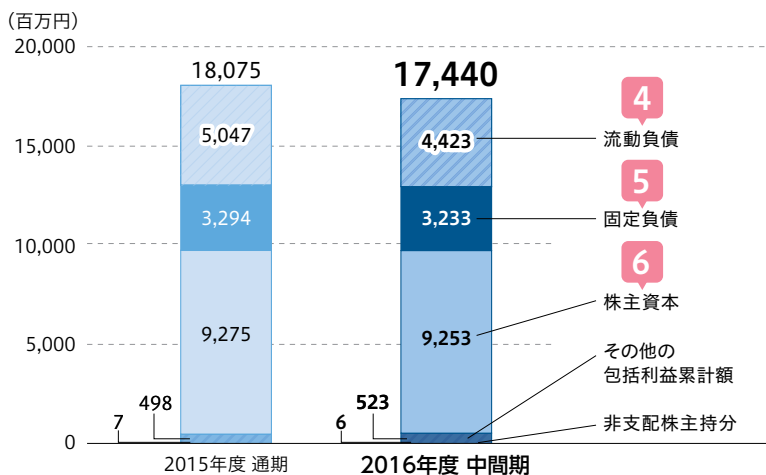
連結貸借対照表 2015年度:3月31日現在, 2016年度:9月30日現在

●資産の部



- 1 流動資産**
受取手形及び売掛金が減少したことなどにより減少しました。
- 2 有形固定資産**
機械装置及び運搬具が減少したことなどにより減少しました。
- 3 投資その他の資産**
繰延税金資産が増加したことなどにより増加しました。

●負債・純資産の部

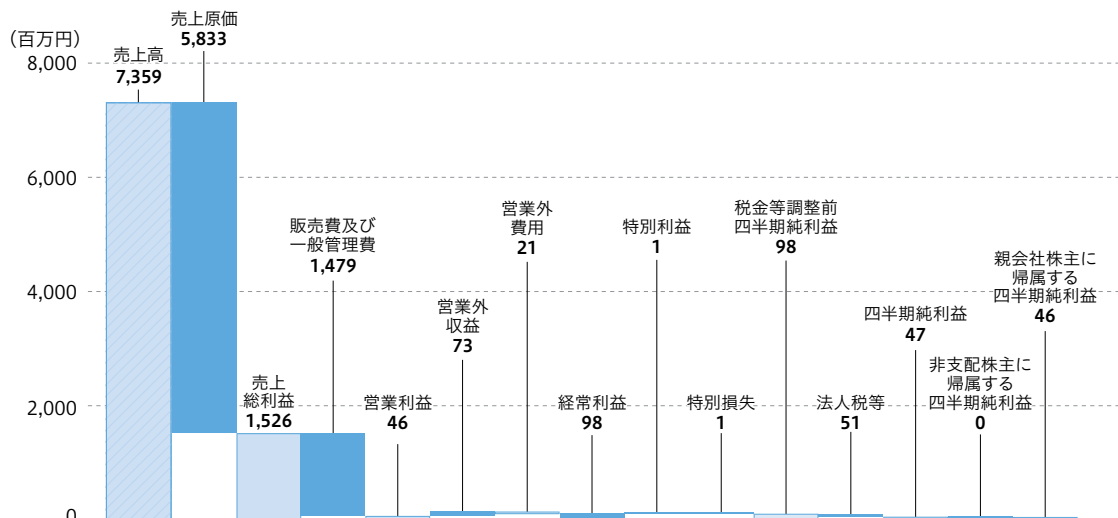


- 4 流動負債**
支払手形及び買掛金や短期借入金が減少したことなどにより減少しました。
- 5 固定負債**
退職給付に係る負債が増加しましたが、長期借入金が減少したことなどにより減少しました。
- 6 株主資本**
利益剰余金の減少により減少しました。

※株主資本、その他の包括利益累計額、非支配株主持分を合わせて純資産となります。

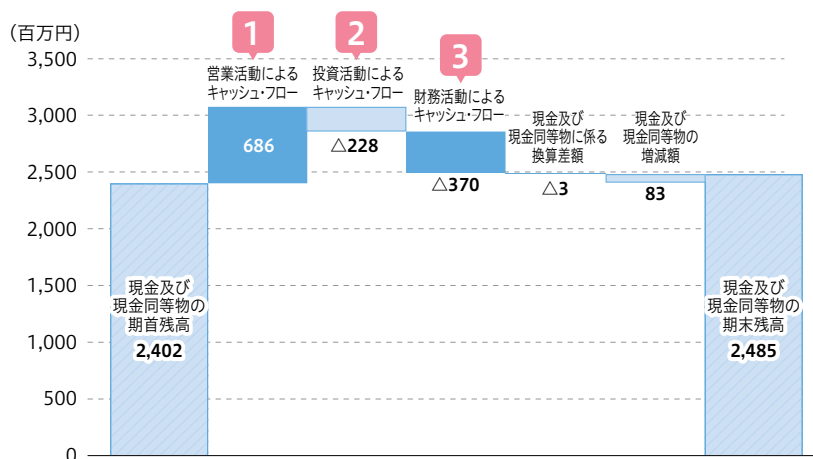
四半期連結損益計算書

2016年4月1日～2016年9月30日



四半期連結キャッシュ・フロー計算書

2016年4月1日～2016年9月30日



- 1 営業活動によるキャッシュ・フロー**
 減価償却費の計上や売上債権の減少などにより、資金が増加しました。
- 2 投資活動によるキャッシュ・フロー**
 有形固定資産の取得による支出などにより、資金が減少しました。
- 3 財務活動によるキャッシュ・フロー**
 短期借入金の返済による支出などにより、資金が減少しました。

株式の情報

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

発行可能株式総数

60,000,000株

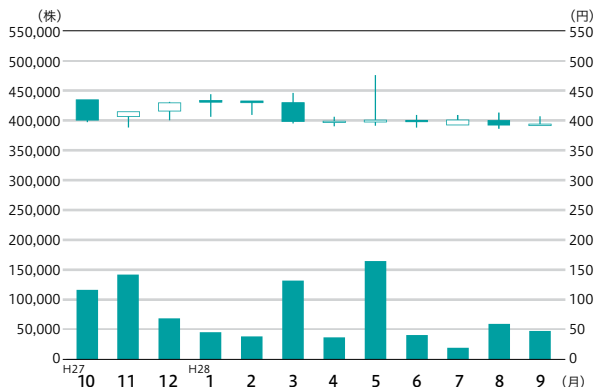
発行済株式の総数

17,825,050株

株主数

6,361名

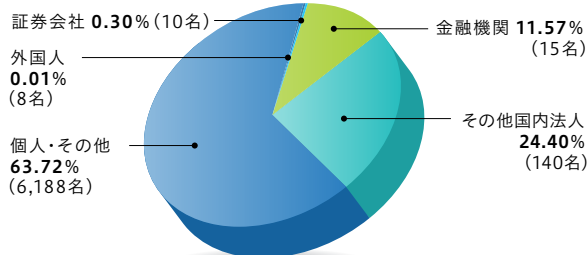
株価推移



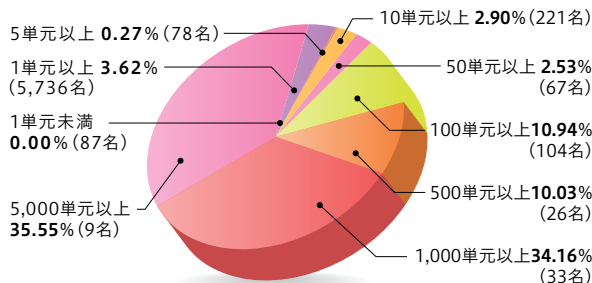
株式分布状況

(注)比率は小数点以下第三位を四捨五入しております

所有者別株式分布状況 (株式数比率)

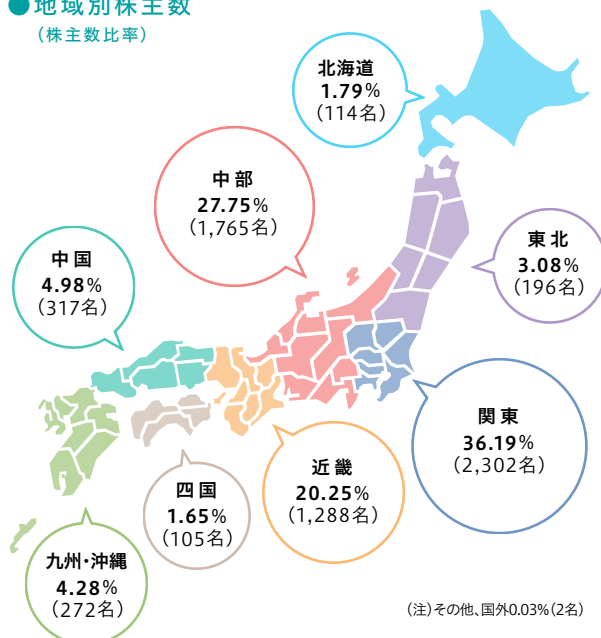


所有数別株式分布状況 (株式数比率)



地域別株主数

(株主数比率)



(注)その他、国外0.03%(2名)

会社の概況

会社概要 (平成28年9月30日現在)

商号	サンメッセ株式会社
設立	昭和21年9月20日
資本金	1,236,114千円
従業員数	731名(連結747名)※嘱託、パートは含まれておりません。

●主要な事業内容

一般商業印刷を中心に出版印刷、包装印刷を営む総合印刷会社。
企画、デザイン、製版、印刷、製本、製袋等に至る設備を有し一貫生産。チラシ制作支援等のシステム開発、セキュリティ、衛生管理を徹底したサービスを実施。印字、封入、封固を行うDPS(デジタルプリントサービス)やPOD(プリントオンデマンド)を強化。WebサイトやDVDなどのコンテンツ制作等の企画開発。

●本社および事業所 (平成28年9月30日現在)

本社	岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-1
支店	東京支店(東京都江東区) 大阪支店(大阪市中央区) 名古屋支店(名古屋市中区) 愛岐支店(愛知県一宮市) 岐阜支店(岐阜県岐阜市)
営業所	三重営業所(三重県四日市市) 滋賀営業所(滋賀県彦根市) 京都営業所(京都市下京区) 岡崎営業所(愛知県岡崎市)
工場	本社工場(大垣市)・中工場(大垣市)・西工場(大垣市)
関係会社	日本イベント企画株式会社(岐阜県大垣市) サンメッセタイランド株式会社(タイ王国バンコク市)

●役員 (平成28年9月30日現在)

取締役会長	※田中良幸
取締役副会長	※田中勝英
取締役社長	※田中義一
取締役	田中尚一郎
取締役	水谷和則
取締役	今井稔
取締役	伊東覚
取締役	長井芳郎
取締役	竹林啓路
取締役	橋本勝之
取締役	千代耕司
取締役	衣斐輝臣
取締役	由良直之
取締役(監査等委員)	松井巖
取締役(監査等委員)	長屋英機
取締役(監査等委員)	石岡秀夫

(注) ※は、代表取締役であります。
松井巖氏は、常勤の監査等委員であります。
長屋英機および石岡秀夫の両氏は、社外取締役であります。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
定時株主総会基準日	毎年3月31日(議決権行使株主確定日)
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 *公告掲載のホームページアドレス http://www.sunmesse.co.jp/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で 行っております。

[お知らせ]

- 株式に関する住所変更等のご照会及びお届出について
株式に関するお手続(住所、姓名などの変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株式の買取請求など)のご照会及びお届出につきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。
なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、左記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。
- 配当金のお受け取り方法について
配当金領収証による受領方式及び配当金振込口座指定方式に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で保有しているすべての銘柄の配当金のお受け取りや証券会社の口座でもお受け取りができます。お手続きにつきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。
なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、左記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。
- 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

ホームページのご案内

サンメッセのホームページでは、企業情報などに関する詳しい情報をご覧いただけます。IR情報（投資家様向け情報）やCSR等の取り組みを詳細に紹介した統合レポート(Web版)にも、ダイレクトにアクセスいただけますので、どうぞご利用下さい。

IR情報サイト

<http://www.sunmesse.co.jp/ir/>



統合レポートサイト

<http://www.sunmesse.co.jp/report/>



株主優待について

毎年3月末日現在の当社株主名簿に、記載または記録された100株以上保有の株主様を対象に、年1回一律1,000円分のクオカードを贈呈しています。

当社オリジナル
クオカード



※写真はイメージです。



JQA-EM1779
本社・本社工場
中工場・西工場



19000127



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。



環境にやさしい水なし平版
印刷を採用しています。



Sun Messe

人・物・情報を集積・発信 印刷を核に、情報社会に貢献します

サンメッセ株式会社